

## 1. 背景

1990年の民主化以降、日・モンゴル関係はより緊密化。「総合的パートナーシップ」の構築が両国の外交目標。同国出身力士の人気なども相まって、同国の対日感情は良好。我が国経協に対する期待は強い。

2005年度までの我が国二国間援助累計総額(1400.71億円):

対モンゴル援助国中第一位

- 円借款: 391.07億円(交換公文ベース)
- 無償資金協力: 746.95億円(交換公文ベース)
- 技術協力: 262.69億円(JICA経費ベース)

## 2. 援助の目的と意義

モンゴルは、中国とロシアに挟まれ、地政学的に重要な位置を占め、同国が民主主義国家として成長することは、北東アジア地域の平和と安定に資する。同地域は我が国の安全保障、経済的繁栄とも深く関連している。また、同国は豊かな自然と固有の文化を有し、同国への支援は地球的な環境保全及び伝統文化保護の観点からも重要。

## 3. 重点分野

2004年11月策定の対モンゴル国別援助計画においては、以下の4分野を重点としている。

### (1) 市場経済を担う制度整備・人材育成支援

公的セクターでは、徴税制度の確立、法・規制整備などの行財政管理能力向上、民間では企業育成支援制度の充実など。

### (2) 地方開発支援

特定地域を対象とする地方開発支援や農牧業再生支援など。

### (3) 環境保全

貧困緩和や地域固有の伝統文化にも資する形での自然環境保全及び首都ウランバートルの環境対策。

### (4) 経済活動促進のためのインフラ整備支援

情報通信インフラを含め、産業の成長や国民生活に直結するインフラ整備、観光や地下資源開発を含む運輸部門の整備など。

## 4. 円借款の概要

我が国は従来より、インフラ整備を中心とした円借款案件を実施してきたが、前述の国別援助計画をふまえ、経済成長を通じた貧困削減を支援するため、2006年3月28日に「中小企業育成・環境保全ツーステップローン事業計画」に対し、新規円借款を供与するための交換公文の署名を行った。

### 我が国円借款によるプロジェクト



-鉄道輸送力整備計画(I)  
(1993年度、33.21億円)  
-鉄道輸送力整備計画(II)  
(1994年度、47.53億円)

-ウランバートル第4火力発電所改修計画  
(1995年度、44.93億円)  
-バガヌール・シベオボ炭坑開発計画  
(1996年度、58.27億円)  
-バガヌール・シベオボ炭坑開発計画(II)  
(1997年度、42.98億円)  
-ウランバートル第4火力発電所改修計画(II)  
(2000年度、61.39億円)  
-中小企業育成・環境保全ツーステップローン  
事業計画 (2005年度、29.81億円)

## 5. 無償資金協力の概要

我が国は、1990年以降、モンゴルの民主化及び市場経済化の推進のため、一般プロジェクト無償の他、食糧援助、食糧増産援助、ノン・プロジェクト無償などの支援を実施。2006年度においても、基礎生活分野、基礎インフラ、人材育成に対しての支援等を実施している。

### 具体的な案件(2006年度)

- 「ウランバートル市給水施設改善計画(国債3/3)」(9.52億円)  
首都ウランバートル市内を流れるトーラ川の上流・中央水源の再開発。
- 「第三次初等教育施設整備計画(3/4期)」(8.87億円)  
首都ウランバートル市内の小学校5校60教室の建設及び教育用機材等整備。
- 「東部幹線道路建設及び建設機材整備(2/2期・国債1/4)」(6.46億円)  
ミレニアム道路の一部をなす東部幹線道路の建設及び道路建機の供与。
- その他、留学生無償、草の根・人間の安全保障無償資金協力、文化無償等。

## 6. 技術協力の概要

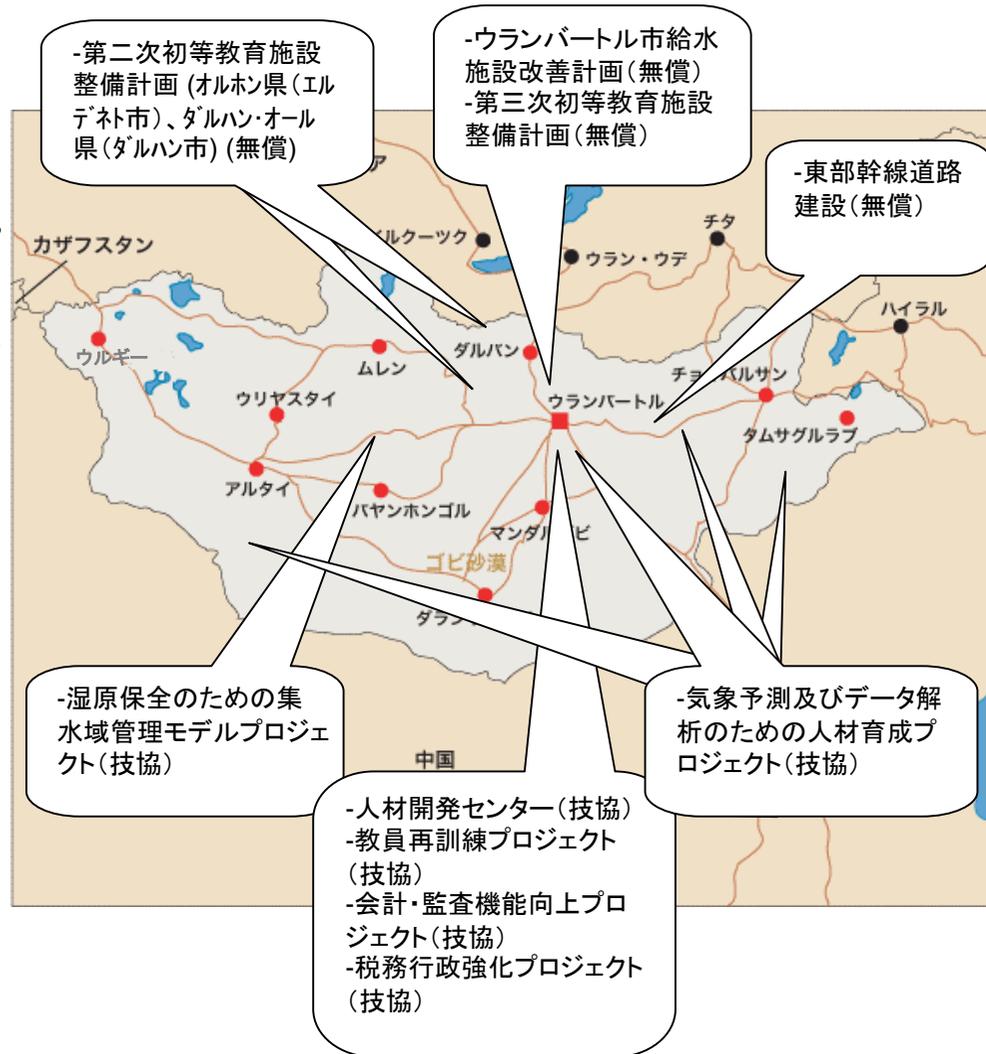
モンゴルの民主化・市場経済化を人材育成等のソフト面で促進することを目的に、研修員受け入れ、専門家派遣、機材供与の各スキームを同国独自の需要に合致させる形で実施している。最近では、産業振興のための経済基盤及び条件整備、市場経済化のための知的支援、人材育成、農業・牧畜業振興、基礎生活支援及び環境保全を中心に支援している。

2005年度実績は研修員受入158名、専門家派遣55名、調査団派遣57名、協力隊派遣38名、その他ボランティア28名、機材供与約7,200万円。

### 最近の具体的な案件

- 人材開発センター(日本センター)(2002.1~2007.1)(ウランバートル)
- 教員再訓練プロジェクト(2003.8~2006.8)(ウランバートル)
- 湿原保全のための集水域管理モデルプロジェクト(2005.2~2008.12)  
(アルハンガイ県、ウギノール村 ※専門家派遣地はウランバートル)
- 気象予測及びデータ解析のための人材育成プロジェクト(2005.2~2007.12)(ウランバートル、パイロット県(ヘンティ、ドンドゴビ、ゴビアルタイ))
- 会計・監査機能向上プロジェクト(2005.10~2008.2)(ウランバートル)
- 税務行政強化プロジェクト(2005.12~2007.9)(ウランバートル)

### 最近の主な無償資金協力、技術協力プロジェクト



# 我が国の対モンゴルODA実績

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
1999年度	0	53.74	19.29
2000年度	61.39	65.68	19.58
2001年度	0	55.12	19.18
2002年度	0	40.60	18.33
2003年度	0	30.85	15.26
2004年度	0	18.80	14.69
2005年度	29.81	40.06	14.57
累計	391.07	746.95	262.69

計 1400.71

(注)「金額」は、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力はJICA経費実績ベースによる。